

「トークとイベントの広場」に出演するミュージアムの中から2つ、ひとあしお先にトークの中身を聞いてみました。当日はどんなお話が聞けるのか、どんな用意をしておくかとより楽しめるのか、ここで予習してみませんか？

「きみはアイソン彗星を見たか？」を聞く前に きみもアイソン彗星を見てみよう！

仙台市天文台 土佐誠 台長



もう二度と出会えない!?

アイソン彗星は、とても遠いところからやってきます。太陽系の外側に「彗星のふるさと」と言われているのですが、そこから太陽に近付いてきて、また戻っていく。その周期が、何千年・何万年という時間なので、私たちにしてみれば見られるチャンスは一度きり。まれに、ハレー彗星のように太陽の周りを回る軌道を持ち、一定周期で見られる彗星もありますが、アイソン彗星の場合は“一生に一度の出会い”。そのため、天文ファンの間でも注目されています。

どんなふうに見えるかな

一度きり。まれに、ハレー彗星のように太陽の周りを回る軌道を持ち、一定周期で見られる彗星もあるのですが、アイソン彗星の場合

は“一生に一度の出会い”。そのため、天文ファンの間でも注目されています。

もうひとつ注目されているのが、見え方。太陽に最接近する前後は、とても明るく、しっぽの長い大彗星になるのではないかと期待されています。ただ、彗星の見え方に関しては予想が難しいので、期待通りに見えるかは私たちにもわかりません。その「どのように見えるかわからない」ところも、楽しみにされていますね。



観測のこんな失敗にご用心

アイソン彗星は、11月の終わりから12月の頭にかけて、明け方、東の空に見えてきます。日の出前の5時くらいが見つけやすいと思いますよ。どんな^{ほうせき}彗星が空に現れるか、ぜひ皆さんにも見てほしいのですが、観測にあたりいくつか注意やコツがあります。

まず、探し方。僕が子どもの頃『ムルコス彗星』という大きな彗星が見られた時があったんです。新聞などの事前の情報では「地平線近くに見られる」とあったので、僕も地平線を一生懸命探していたんですが、見つからなくてねえ。ふっと視線を上げたら、すぐそこにあった(笑)。だから、事前情報は頭に入れつつ、広く空を眺めてみたほうが見つけやすいですよ。

もう1つは、脱輪に注意(笑)。せっかくだからと街灯が無い暗い場所へ車で移動する方もいると思うのですが、灯りを避ければ避けるほど、路肩が見えづらくなってガタン!と。僕も夜中に脱輪して、苦労しました。助けを呼ぶにもなかなか人が来ないので。

ほかには、防寒。寒い時期で明け方なので、くれぐれも防寒はしっかりと。また、アイソン彗星は肉眼でもきれいに見えると予想されていますが、しっかり見たいなら望遠鏡ではなく双眼鏡がおすすめです。大きな彗星は、望遠鏡だと視野に収まりきらず、ごく一部しか見えないことも。ですので、レンズの直径が40ミリくらいで、倍率が10倍以下の双眼鏡がちょうどいいと思います。双眼鏡だったら、普段も景色を見たりバードウォッチングしたりと活用できますよね。

土佐誠

1944年、東京都生まれ。1973年東北大学院修了後、名古屋大助手、東北大助教授、東北大教授(東北大学大学院理学研究科天文学専攻)を経て、2008年4月より仙台市天文台台長。専門は銀河物理学。



太陽に大接近するのは11/29(金)。その前後数日を除く明け方はこのあたり(東の空)に見られそう

※写真はイメージです。

家庭用デジカメでも写る!

アイソン彗星を見つけたことができれば、ぜひお手持ちのデジカメで写真を撮ってみてください。最近のデジカメは性能がいいから、星も写るんですよ。僕も、仙台駅のペDESTリアンデッキで金星を撮ったことがあります。夜景を写すモードだと撮りやすいんじゃないかなあ。露出を変えたりズームにしたり、いろいろ試してみてください。アイソン彗星は、毎日見え方が変化するはず。尾の形が変わっていくはずですし、急激に明るくなる日もあると思うんです。そういう変化を写したら、ぜひミュージアムユニバースに持ってきてくださいね。あなたが見たアイソン彗星を皆さんにご紹介しながら、彗星にはなぜ尾ができるのか、なぜ明るくなるのかなどをご紹介しようと思います。

お時間があれば、ぜひ天文台のプラネタリウムにもお越しください。『天文の時間』でアイソン彗星の特集をしています。どの方向にどんなふうに見えるか、手がかりとなる星座や星も紹介しますので、予習しておくで見つけやすくなりますよ。一度見つけることができれば、次からはラク。毎日刻々と変わるアイソン彗星を記録して、彗星のふしぎと魅力と一緒にふれていきましょう。

アイソン彗星の写真を募集します!

トークの中でご紹介しますので、プリントアウトして当日にご持参ください。

※当日、撮影写真の情報として「氏名、撮影日時、場所、カメラ、天候、感想など」をシートにご記入いただけます。写真(A4版以内)をご持参のうえ、トーク開始の少し前までに会場にお越しください。

※時間の都合上、ご紹介できない場合があります。

彗星のふしぎに迫ろう!



12/20
(金)

土佐台長のトーク日程はこちら!

タイトル
「きみはアイソン彗星を見たか?」
17:00 ~ 17:45 (無料)